

自宅で使用するパーソナルコンピュータの設定確認書

使用するパーソナルコンピュータ

OS（Windows、Mac等）の種類

コンピュータウィルス対策ソフトウェアの種類

使用するパーソナルコンピュータについて、コンピュータセキュリティ（安全性）を保つための仕組みや技術が導入されているか、次の項目に沿って確認してください。

1. 外部との通信を制御するファイアウォールを有効にしている。

例) Windows Defender ファイアウォールを有効にする場合 (Windows10 の場合)

- (1) 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows システムツール」、「コントロールパネル」、「システムとセキュリティ」、「Windows Defender ファイアウォール」、「Windows Defender ファイアウォールの有効化又は無効化」の順にクリックする。
- (2) 「各種のネットワーク設定のカスタマイズ」の全ての設定を「有効」に設定し、その他の☑欄は適切に選び、「OK」にする。

2. 重要な更新が定期的に行われるようアップデートを自動更新にしている。

例) Windows Update を自動更新にする場合 (Windows10 の場合)

- (1) 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」、「更新とセキュリティ」、「詳細オプション」の順にクリックする。
- (2) 「Windows の更新時に他の Microsoft 製品の更新プログラムを受け取る」を「ON」にする。

3. コンピュータウィルス対策ソフトウェアの更新データを最新のものにし、定期的にウィルススキャンを行っている。

4. 以下いずれかにチェック

ハードディスクの暗号化を行っている。

機密性2及び機密性3を持ち出さない（ディスクの暗号化は必須としない。）。

（参考：PCディスク暗号化ガイド <https://oii.tsukuba.ac.jp/security/utos/>）

5. 1台のパーソナルコンピュータを共有していない、又は共有しているものの個別のユーザー登録をされており、自分以外の者はログインできないよう設定している。

6. P2Pソフトウェア（Winny、WinMX、Share等）をインストールしていない。

上記のとおり設定されていることを確認しました。

署名 _____
(学籍番号: _____)

事務局電子メールのアカウント (@un.tsukuba.ac.jp) を持つ職員は、インターネットで次のアドレスから Outlook Web Access にアクセスすることにより、職場における電子メール及びパブリックフォルダにアクセスすることができます。
<https://gwo.un.tsukuba.ac.jp/owa/>